

科目責任者 石川 洋一(薬学教育研究センター／小児医薬品評価学)

■ 教育目的

この講義では、4年次までに薬物治療学の系統講義を履修し、5年次の病院および薬局における標準実習と各特別コースを履修した学生に対して、総合的な観点で薬物治療学の授業を行う。学生は、教員の思想、体験、歴史を背景とした講義に、主体的に参加し、自らの意見を述べて授業に参加することが求められる。【卒業認定・学位授与の方針：YD-③、⑤、⑥】

■ 学習到達目標

1. 受け身の講義ではなく、自らが意見を述べて授業に参加できる(知識、技能、態度)
2. 薬物治療の最先端の問題を理解できる(知識、技能)
3. 薬物治療を社会的な観点から考えることができる(知識、技能)
4. 患者と医療者の関係を自らの問題として考えることができる(知識、技能、態度)

■ 準備学習（予習・復習）

予習：シラバスで提示された講義内容の予備調査(20分以上)

復習：該当講義の知識確認と不足部分の補充に関する自主学習(20分以上)

■ 授業形態

プレゼンテーション、講義

■ 授業内容

知識伝達型の講義ではなく、担当教員がそれぞれの専門分野において最先端の医学問題、社会的な問題などを取り上げ、系統講義ではなしえない学生自らが問題を考えるきっかけとする講義を行う。

No.	項目	授業内容	SBOコード
1	女性疾患	月経異常、子宮筋腫、子宮内膜症、避妊など	E2(5)-②-5
2	女性疾患	APS、高プロラクチン血症、HDP、更年期障害など	E2(3)-③-6～8
3	特殊患者集団の薬物治療(1)	妊婦・授乳婦の薬物治療	E3(3)-④-2
4	特殊患者集団の薬物治療(2)	小児の薬物治療(1)	E3(3)-②-1
5	特殊患者集団の薬物治療(3)	小児の薬物治療(2) アトピー性皮膚炎・感染症治療など	E3(3)-②-1 E2(6)-③-1 E2(7)-③-1
6	特殊患者集団の薬物治療(4)	高齢者の薬物治療	E3(3)-②-2
7	テーラーメイド薬物治療	薬物動態と感受性の遺伝多型	E3(3)-①-1～3, E3(3)-⑤-1
8	薬物相互作用の管理 臓器障害時の用法・用量調節	薬物相互作用を考慮した薬物治療 臓器機能低下時の薬物治療	E4(1)-②-4, ③-6, ④-4, ⑤-5 E3(3)-③-1～3
9	最新の糖尿病薬物治療	薬物治療の進化による糖尿病診療の変化	E2(5)-①-1
10	特殊患者集団の薬物治療(5)	患者背景としての糖尿病の管理	E2(5)-①-1
11	チーム医療と生活習慣病管理	糖尿病診療における薬剤師の役割	E2(5)-①-1
12	麻酔・周術期薬物治療	外科的疾患・疼痛管理・術前/手術室での薬物治療・輸液	E2(1)-③-1
13	臓器移植/免疫療法	移植免疫を中心とした薬物治療	E2(2)-②-9
14	集中治療	集中治療室 ICU での薬物治療(敗血症とショック)	E2(7)-③-10
15	災害医療について	災害医療における薬剤師の役割	F(5)-④-1～3

■ 授業分担者

野澤 玲子(No.1、2)、石川 洋一(No.3～5)、植沢 芳広(No.6～8)、榎山 暁史(No.9～11)、石橋(No.12～14)、学外講師(No.15)

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

出席(10%)と期末試験(90%)で総合評価を行う。

■ 教科書

講義プリント